

| 該当する 関連文化 財群 | No. | 措置 (事業) 名 | 事業概要・業務内容 | 課名 | 令和4年度 の取組状況 | 「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】 | | | 「③遅延」「④保 留・中止」の理由 「⑤未着手」の開 始時期 | 令和5年度の 主な取り組み |
|------------------------------|-----|-------------------------|---|-------------|----------------|-----------------------------------|---|------------------|---|--|
| | | | | | | 予算等の事業名 | 取組状況及び成果 | 活用する補助 金・交付金名 | | |
| ＜1＞ 原 始・古代 の人々の 営み | 1 | 遺跡や出土遺物の調査の実施 | 遺跡の有無を確認するとともに、開発行為の影響が遺跡に及ぶ場合は、発掘調査を実施します。また出土遺物は博物館で活用できるよう調査研究を進めます。 | 生涯学習・文化財保護課 | ②概ね順調 | 埋蔵文化財発掘調査事業 | ・大手門広場を設置するにあたり、大野城跡の状況を確認するため試掘調査を実施した。 ・和泉地区の出土遺物を博物館で活用できるよう調査を開始した。 | — | — | |
| | 2 | 遺跡調査結果の周知 | 遺跡地図を公開し、埋蔵文化財の場所や時代、遺跡の内容、過去の発掘の有無などを周知します。 | 生涯学習・文化財保護課 | ②概ね順調 | 埋蔵文化財発掘調査事業 | ・遺跡地図をホームページに掲載し、公開している。 | — | — | |
| ＜2＞ 町や 村に暮ら す人々の 交流 | 1 | 市民が民俗芸能に参加できる場所づくり | おおの城まつりを通して、民俗芸能の継承を兼ねたイベントと踊り教室を実施します。 | 観光交流課 | ①順調 | おおの城まつり事業 | ・越前大野おどり保存会、若手演奏グループ「音人」による小学生や一般対象の練習会を4回開催。また、両団体は、イベント等にも参加し踊りや演奏を披露し、大野音頭などの継承に努めた。 | — | — | |
| | 2 | 民俗芸能を発表する機会の創出 | 大野市総合文化祭の開催などを通して、民俗芸能を発表する機会を設けます。 | 地域文化課 | ①順調 | 市総合文化祭開催事業 | ・市総合文化祭の行事である芸能発表会「錦秋のしらべ」において、郷土芸能の発表を行った。 ・市が一部補助している文化協会が、「民謡の祭典」を開催し、郷土芸能の発表を行った。 | — | — | 大野市総合文化祭の開催などを通じた、民俗芸能を発表する機会の創出 |
| | 3 | 城下町のにぎわい創出への支援 | 城下町の各通りで行うイベントを支援し、魅力ある商店街づくりを促進するとともに、来訪者数の増加と、回遊性と売上の向上を図ります。 | 産業政策課 | ①順調 | まちなか商店街にぎわい再生事業補助 稼ぐ力応援事業 | ・各通りの商店街が行うのぼり旗やイルミネーションの設置による装飾やイベントの開催を支援した。また、多くの事業者が出店する「城下町キャラバン」にも補助することで、まちなかのにぎわい創出に繋げ、来訪者数の増加と売上の向上を図った。 | — | — | 【再掲】 越前大野城をはじめとする様々な越前おおのブランドの情報などメディアや広告などにより情報発信を行う。 また、「越前おおのブランド活用事業補助」や「七間朝市にぎわい創出事業補助」などの事業により支援することで、市内事業者の「稼ぐ力」の向上やまちなかの賑わい創出に繋げることとしている。 さらに令和5年度は、新たに「まちなかにぎわいづくりVR体験事業」として、越前おおのブランドの一つである、「天空の城 越前大野城」をVR動画で模擬体験できるコーナーをまちなかに開設することとしている。 |
| | 4 | 歴史の道調査の実施 | 美濃街道をはじめとする、古来から近代まで往来のあった主要なルートについて調査します。 | 生涯学習・文化財保護課 | ①順調 | 文化財環境保全事業 | ・五箇地区と勝原をつなぐ「寺月峠」について情報を収集し、実査を行った。 ・富田地区で「道標地蔵」と通称される石像を調査し、付近を通る美濃街道とは関係していないことを明確にできた。 | — | — | |
| ＜3＞ 華開 く「進取 の気象」 | 1 | 国登録有形文化財「旧内山家住宅」の一般公開 | 幕末大野藩の藩政改革に尽力した家老の内山良休ゆかりの国登録有形文化財「旧内山家住宅」を一般公開します。 | 観光交流課 | ①順調 | 旧内山家管理運営経費 | ・施設を良好な状態に維持し、フリーwifiの設置などにより、観光客の利便を向上させている。 ・夏・秋限定で葦を使用した城見窓付きの夏障子と冬限定で桜や荒島岳、大野らしさが感じる動物を配した絵障子を設置した。また、絵障子は新たにデザインした4枚の障子を追加し、誘客の促進と施設の満足度向上を図った。 | — | — | 武家屋敷旧内山家の絵障子は、ストーリー完結予定。(最終年度/3年目) |
| | 2 | 大野藩に関する資料調査の実施 | 幕末大野藩が全国に先駆けて取り組んだ洋学について、関連研究機関との交流などにより、全国の蘭学史との比較研究を行います。 | 生涯学習・文化財保護課 | ②概ね順調 | 歴史博物館管理運営経費 | ・大阪大学適塾センターが発刊する『緒方洪庵全集』の執筆協力および情報提供を行った。 ・「幕末外国関係文書」(東京大学史料編纂所)から、これまで郷土史では認識されていなかった大野丸と英国船との事故の記録を確認することができた。 | — | — | |
| | 3 | 博物館施設における資料の収集・保管(幕末資料) | 歴史博物館において、幕末の藩政改革に関連する資料を収集・保管・展示します。 | 生涯学習・文化財保護課 | ①順調 | 歴史博物館管理運営経費 | ・藩政資料を中心に、関連資料を展示・解説した。 | — | — | |
| | 4 | 博物館資料の展示品の解説(藩政改革) | 歴史博物館の展示資料について解説を行い、幕末期の大野藩の活躍を周知します。 | 生涯学習・文化財保護課 | ①順調 | 歴史博物館管理運営経費 | ・藩政資料を中心に、関連資料を展示・解説した。 | — | — | |

| 該当する 関連文化 財群 | No. | 措置 (事業) 名 | 事業概要・業務内容 | 課名 | 令和4年度 の取組状況 | 「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】 | | | 「③遅延」「④保 留・中止」の理由 「⑤未着手」の開 始時期 | 令和5年度の 主な取り組み | |
|--|-----|--------------------------------|--|--|----------------|--|---|----------------------------|---|---|---|
| | | | | | | 予算等の事業名 | 取組状況及び成果 | 活用する補助 金・交付金名 | | | |
| ＜4＞ 戦乱 の時代と 大野盆地 の城郭群 | 1 | 城郭に関する調査 の実施 | 全国の自治体や団体と協力し、近世城郭「大野城」の城郭や築城者・金森長近に関する調査や交流を行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 文化財環境保全事業 | ・高山市において金森長近を顕彰する民間団体と、情報交流を行った。 ・岐阜県高山市及び美濃市、滋賀県守山市との交流事業として、金森長近公をテーマとした講演会を開催し、令和6年度の長近公生誕500年に向けた自治体連携のきっかけを創出した。 ・金森長近とゆかりを持つ市から関係資料の提供を受け、金森長近の人生を紹介するパネル展を開催した。 | — | — | 令和6年度の、長近公生誕500年に向けた自治体連携をさらに進め、情報交流を行う。 | |
| | 2 | 城館跡の調査の実 施 | 大野市内に残る、大野城築城前の山城や館跡、それぞれの縄張り、築城・在城者などについての調査を行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 文化財環境保全事業 | ・市指定史跡「亥山城址」の調査を実施した。 | — | — | | |
| | 3 | 城郭に関する調査 結果の周知 | 城跡の調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ⑤未着手 | 文化財環境保全事業 | — | — | 調査結果について、令和5年度以降公開 | | |
| ＜5＞ 大野 城の築城 と城下町 の形成、 その後の 発展 | 1 | 県指定史跡「越前 大野城跡」の調査 と保存整備 | 県指定史跡「越前大野城跡」の石垣と遺構の調査を行い、傷んでいる箇所については保存整備を行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 文化財環境保全事業 | ・石垣の傷んでいる箇所を確認している。 | — | — | | |
| | 2 | 【再掲】 越前大野城の維持 管理と活用 | 大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。 | 観光交流課 | ①順調 | 越前大野城管理運営 経費 | ・施設を良好な状態に維持した。 ・R4年度から施設管理を観光協会に委託し、大野城からまちなか観光への積極的な誘導と、御城印や限定御朱印帳、観光グッズ等の販売を行っている。 ・冬季のイベント「越前おおの 冬物語」では、天守から冬の打ち上げ花火を見る取組みを行った。 ・観光協会と連携し、おおの城まつりの期間に合わせて、越前大野城の夜間開館と石垣広場のナイトイルミネーションと提灯散策を実施した。 | — | — | 【再掲】 ・大野市のシンボルである越前大野城をさらに魅力的にするため、展示品の展示方法を見直し、また館内に装飾を施し、来館者の満足度向上を図る。3年計画の2年目。 ・越前大野城をメインテーマにした文化財を楽しむ対談会を9月に開催する。伝統芸能を披露するアトラクションも行う。 | |
| | 3 | 越前大野城の情報 発信 | 天空の城として知られる越前大野城を観光コンテンツとして活用するため、城の情報や城主とのゆかりの地などを来訪者に情報発信します。 | 観光交流課 | ①順調 | 天空の城誘客宣伝事 業 | ・天空の城展望台までの登山道の管理、ホームページの管理を行っている。 | — | — | | |
| | 4 | 歴史文化施設の周 遊イベントの開催 | 歴史博物館や民俗資料館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、本願清水イトヨの里、COCONOアートプレイスなど、大野市内の文化施設の周遊促進を図るための事業を実施します。 | 生涯学習・文 化財保護課 観光交流課 環境・水循環 課 地域文化課 | ②概ね順調 | 民俗資料館管理運営 経費 歴史博物館管理運営 経費 歴史文化施設ぐるっ と満喫事業 イトヨの里保護啓発 推進事業 COCONOアート プレイス管理運営経 費 | 市内文化施設連携事業 ・7/16から10/30までの期間中、市内文化施設共通テーマ展「星展」を開催。 本願清水イトヨの里では、大型水槽を夜空に見立てたディスプレイの設置を、歴史博物館では、収蔵資料紹介展「星」の開催を、武家屋敷旧内山家・旧田村家、和泉郷土資料館、笛資料館では、企画「文化施設で星を見つけよう！」を、越前大野城では、夜間開館とライトアップを行うなど、周遊促進を図った。 ・市内文化施設を巡る、クイズビンゴ(市)スタンプラリー(商工会議所)城ガチャ(観光協会)などに参加した。 ・越前大野城の3階の展示のリニューアルや3階から4階へ続く階段の装飾、4階展望台の金網の影絵といったフォトスポットの設置により、施設の魅力向上を図った。 | — — — — — — | — — — — — — | — — — — — — | ・夏休み期間中のファミリーを対象に文化施設の周遊企画を実施し、おおの歴史文化に興味を持ってもらう。 |
| | 5 | 市指定文化財「田 村又左衛門家屋 敷」の一般公開 | 大野藩の上級武士であった市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」を一般公開します。 | 観光交流課 | ①順調 | 旧田村家管理運営経 費 歴史文化施設ぐるっ と満喫事業 | ・施設を良好な状態に維持している。フリーwifiの設置などにより、観光客の利便を向上させている。 ・期間限定で屋敷前や庭先などに約2,000個の風車を備えた風車棚を昨年に引き続き設置し、誘客を図った。 ・夏休み前には、一般ボランティアの参加を募り、風車の入替作業を行った。 | — | — | 武家屋敷の雰囲気合うフォトジェニックな空間を創ることで、観光誘客を目指す。今年度は、冬の旧田村家でも取り組む予定。 | |
| | 6 | まちなか観光施設 への誘客 | あらゆる媒体を活用した情報発信を行い、御清水や新堀清水などのまちなか観光施設への誘客を行います。 | 観光交流課 | ①順調 | 観光誘客等推進事業 | ・御清水をカラフルな提灯でライトアップし、夜間のフォトスポットとしている。 ・R4年度は大野高校美術部制作の提灯も登場し、誘客を促進した。 | — | — | | |
| | 7 | 七間朝市への誘客 | 「おおの遺産」である七間朝市の魅力向上を図り、朝市への誘客を行います。 | 産業政策課 | ①順調 | 七間朝市にぎわい創 出事業補助 | ・伝統の「三大朝市物産まつり」や「朝市開き」の実施を支援した。また商店街若手グループである七間大盛会在商店街と朝市の振興のために行う「七間楽市」や「七間ハロウィン」の開催を補助することで、にぎわいの創出を図った。 | — | — | | |

| 該当する 関連文化 財群 | No. | 措置 (事業) 名 | 事業概要・業務内容 | 課名 | 令和4年度 の取組状況 | 「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】 | | | 「③遅延」「④保 留・中止」の理由 「⑤未着手」の開 始時期 | 令和5年度の 主な取り組み |
|-------------------------------|-----|-------------------------------|---|-----------------|----------------|-----------------------------------|--|------------------|---|---|
| | | | | | | 予算等の事業名 | 取組状況及び成果 | 活用する補助 金・交付金名 | | |
| ＜6＞ 地域 に息づく 多様な信 仰形態 | 1 | 仏像・神像調査の 実施 | 大野市内の仏像や神像、信仰の対象となっ た遺跡や建築物などを対象に調査を行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 文化財環境保全事業 | ・専門家とともに神社1か所の神像等105点を調査し所見 を得た。 ・市内の寺社に仏像神像の書面アンケートを実施し、126 件の回答を得た。アンケートの回答をもとに、寺社2件の現 状調査を行い、結果を報告した。 | — | — | 【再掲】仏像神像アンケートに基づ き、地区ごとに現状調査を進めてい く。調査結果は随時、所有者へ報告 する。 |
| | 2 | 仏像・神像調査結 果の周知 | 調査結果をホームページやパンフレットな どで広く周知します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ⑤未着手 | 文化財環境保全事業 | — | — | 調査を進めて おり、所有者 の承諾が取れ たものから周 知する。 | |
| ＜7＞ 受け 継がれる 芸能 | 1 | 「おおの遺産」の 伝承活動への支援 | 「おおの遺産」認証団体の保存・継承に向 けた活動に対して支援します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 伝統文化伝承事業 | ・コロナ禍での活動継承と感染防止についての助言を行っ た。 ・「おおの遺産」認証団体への補助を募集したが、応募がなく、一層の周知を行う必要がある。 | — | — | |
| | 2 | 「おおの遺産」の 情報発信 | 認証を受けた「おおの遺産」をインター ネットを活用して広報します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 伝統文化伝承事業 | ・おおの遺産認証団体の活動をSNSで発信を行った。 | — | — | |
| | 3 | 「おおの遺産」候 補の調査の実施 | 結の故郷伝統文化伝承条例に基づく「おお の遺産」の認証候補となる伝統芸能や年中 行事、風習・生業など伝統文化について調 査を行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 伝統文化伝承事業 | ・おおの遺産の候補として、4件（景観1件、年中行事3 件）の調査を行った。 | — | — | 【再掲】おおの遺産の認定を目指 し、候補の行事について、情報収集 し調査を進めていく。 |
| | 4 | 無形民俗文化財の 記録保存 | 大野市内に伝わる踊りや歌、祭礼、神事な どを録音・録画したものをアーカイブ化 し、公開します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ⑤未着手 | 伝統文化伝承事業 | — | — | コ ロ ナ 禍 後、 伝 承 芸 能 活 動 が 安 定 し た 令 和 6 年 度 か ら 実 施 予 定。 | |
| | 5 | 無形民俗文化財関 係団体の交流会の 実施 | 無形民俗文化財の保存団体の代表者によ る、今後の保存・継承に向けた意見交換会 を開催します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 伝統文化伝承事業 | ・開催内容や規模について参考とするため、市外の類似団体 から内容の聞き取りを行った。 ・意見交換会については、書面で開催した | — | — | |
| ＜8＞ 自然 の恵みと 暮らし | 1 | 国指定重要文化財 「旧橋本家住宅」 の維持管理 | 国指定重要文化財「旧橋本家住宅」を良好 な状態で保存します。茅葺き屋根と建物の 梁や柱を湿気や虫害などから守るため、年 間を通じた囲炉裏への火入れや、災害時の 対応、一般公開などを行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 旧橋本家管理運営経 費 | ・一般管理の他、貯水槽の修繕、放水銃の漏水原因調査、自 動火災報知設備の修繕、水道管の修繕を行った。 | — | — | |
| | 2 | 暮らしに関する資 料の展示 | 大野市民俗資料館では、まちや村での暮ら しに関する道具などの有形民俗文化財を 展示します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 民俗資料館管理運営 経費 | ・多くの人に学び楽しんでいただけるよう、見やすくわかり やすい展示を念頭に、民俗資料館の展示替えを行い、解説を 充実させた。また、リーフレットを一新し、月ごとに変わる 民具カードの配布を開始し、入館者数は2,501人（H3 2,028人）となり、前年度より23%増加した。 | — | — | |
| | 3 | 民俗資料の調査の 実施 | すでに無住となった地域の暮らしや習わし について、聞き取りや文献などでの記録保 存を行います。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 文化財環境保全事業 | ・無住となった地域の古文書を整理し、撮影記録として保存 した。 | — | — | |

| 該当する 関連文化 財群 | No. | 措置 (事業) 名 | 事業概要・業務内容 | 課名 | 令和4年度 の取組状況 | 「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】 | | | 「③遅延」「④保 留・中止」の理由 「⑤未着手」の開 始時期 | 令和5年度の 主な取り組み |
|------------------------------|-----|----------------------------|---|--------------------------------|----------------|--|--|------------------|---|--|
| | | | | | | 予算等の事業名 | 取組状況及び成果 | 活用する補助 金・交付金名 | | |
| ＜9＞ 食の 営み | 1 | 食に関連した道具 などの展示 | 大野市民俗資料館では、食に関係する道具 などの有形民俗文化財を展示します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 民俗資料館管理運営 経費 | ・「たべる」というテーマの展示室を設け、食に関係する道 具など、配置を整理して展示し、すべての解説をわかりやす く充実させた。 | — | — | |
| | 2 | 伝統食を体感でき るイベントの実施 | 地元食材の提供や食文化の普及と継承を行 うイベントを実施します。 | 農業林業振興 課 | ①順調 | 食育推進事業 | ・第15回越前おおの食守フェスタを開催し、市内で食育に 取り組んでいる団体が、団体の活動紹介や地産地消、食育の 啓発をテーマとしたパネルの展示を行った。また、地元の食 材を使ったレシピの紹介と共に試食を提供した。 | 地方創生推進交 付金 | — | 第16回越前おおの食守フェスタ ①パネル展示 市内で食育に取り組んでいる団体の 活動発表 栄養バランスの良いレシピや地産地 消の重要性の紹介などの食育の啓発 ②体験、試食 地元の食材を使った栄養バランスの 良いレシピでつくった試食 食育にちなんだ体験 ③クイズラリー 展示されているパネルを活用したク イズでクイズラリー |
| | 3 | 伝統食の調査の実 施 | 伝統食を対象に、材料や作り方、保存方法 などについて調査し、発信します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ②概ね順調 | 文化財環境保全事業 | ・100年フードに認定された「半夏生さばの食文化」につ いて、古文書からわかることを整理し、市役所や食守フェ スタで展示を行うとともに、ホームページ・SNSで情報発信 を行った。 | — | — | |
| | 4 | 食文化のブランド 化と地域でのふる まい | 食文化のブランド化を図り、観光資源とし て提供をできる体制を充実させます。 | 農業林業振興 課 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 特産作物ブランド力 強化事業補助 文化財環境保全事業 | ・サトイモの病害対策のため農業への補助を行った。 ・穴馬スイーツコーン、穴馬かぶらの作付面積に対し奨励金 を交付した。 ・100年フード「半夏生さばの食文化」をPRし、ブラン ド化を図るため、半夏生さばの販売店や観光協会、商工会議 所などと協力し、チラシやポスター展示、ホームページ、S NS発信した。 | — | — | 特産作物のネギ、ナス、穴馬スイ ートコーンや伝統野菜の里芋や穴馬か ぶらを、次世代に残していくため、 作付面積に対する奨励金の交付、裁 培技術の継承や作業の軽減を図る農 業用機械などの導入への支援で生産 者を応援する。 |
| ＜10＞ 化石 が物語る 大地の歴 史 | 1 | 化石の情報発信拠 点の整備 | 化石の調査成果の情報発信を行う拠点とし て和泉郷土資料館を整備します。 | 観光交流課 | ①順調 | 和泉郷土資料館等管理 運営経費 恐竜・化石魅力向上事 業 和泉郷土資料館改修事 業 | ・和泉郷土資料館の壁に恐竜トリックアートを描くととも に、展示室を恐竜や化石に特化したものにリニューアル整備 した。 ・施設の愛称を募集し「くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ」 に決定した。 | 電源地域振興補 助金 | — | 「九頭龍 恐竜・化石」のブランド を活用し、中京方面の旅行業者等を 対象にしたモニターツアーを実施 し、ツアーの商品化を目指す。 |
| | 2 | 地層と化石の調査 研究 | 地層と化石について、調査研究を進めま す。調査に当たっては福井県立恐竜博物館 をはじめ関係機関と共同で進めます。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 化石保全活用事業 | ・手取層群伊月層から見つかった獣脚類恐竜の歯化石につ いて、ティラノサウルスや現生の鳥類までを含む分類群「テ タヌラ類」の化石と特定したことを発表し、本市における恐 竜化石研究の重要性を示した。 ・福井県立恐竜博物館と共同で、化石発掘集中調査を5日間 実施した。 ・日本古生物学会第172回例会で、中部縦貫自動車道工事 において産出したアンモナイト化石に関する研究発表を行っ た。 | — | — | 【再掲】令和5年度が、中部縦貫自 動車道の化石調査の最終年度となる ため、現場での取集や調査から研究 に進めていく。 |
| | 3 | 化石発掘体験セン ターの活用 | 地元で産出した岩石を使った化石の発掘体 験ができる施設「化石発掘体験センター HOROSSA!」の活用を図ります。 | 観光交流課 | ①順調 | 化石発掘体験セン ター管理運営経費 恐竜・化石魅力向上 事業 | ・施設を良好な状態に維持している。 ・開館5周年を迎え、モニュメントのお披露目、ロケット カードの製作、記念イベントなどを実施し、化石産出地とし ての魅力アップ、情報発信を行った。 | — | — | 【再掲】「九頭龍 恐竜・化石」の ブランドを活用し、中京方面の旅行 業者等を対象にしたモニターツー アーを実施し、ツアーの商品化を目 指す。 |
| | 4 | 地層と化石の調査 成果の発表 | 地層と化石の調査研究成果を企画展や講座 などで発表します。また化石や地層の見学 会を実施します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 化石保全活用事業 | ・伊月化石壁で現地解説付きの観察会を2回開催した。ま た、手取層群伊月層から見つかった「テタヌラ類」の歯化石 を歴史博物館に期間限定で展示し、活用につなげた。 ・東アジア初の種類となるジュラ紀アンモナイト「エピス トレノセラス」の研究結果を博物館講座で発表した。 | — | — | |
| | 5 | 地層や化石の保護 パトロールの実施 | 化石の無断採取の防止を目的とした化石保 護監視員によるパトロールを実施します。 | 生涯学習・文 化財保護課 | ①順調 | 化石保全活用事業 | ・化保護監視員10名によるパトロールを実施した。 | — | — | |

| 該当する 関連文化 財群 | No. | 措置 (事業) 名 | 事業概要・業務内容 | 課名 | 令和4年度 の取組状況 | 「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】 | | | 「③遅延」「④保 留・中止」の理由 「⑤未着手」の開 始時期 | 令和5年度の 主な取り組み |
|-------------------------------|-----|-------------------------------------|---|-------------|----------------|-----------------------------------|---|-------------------------|---|---|
| | | | | | | 予算等の事業名 | 取組状況及び成果 | 活用する補助 金・交付金名 | | |
| ＜11＞ 山と 盆地の豊 かな自然 環境 | 1 | 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境整備 | 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の整備と学習施設の展示リニューアルを行います。 | 環境・水循環課 | ②概ね順調 | 本願清水イトヨの生息地等環境整備事業 | ・R2年度と3年度において、イトヨ生息地に堆積していた土砂やヘドロ、汚泥等122t(R2上流=53t・R3下流=69t)を除去するとともに、護岸の補強工事を実施し、イトヨの生息環境の向上を図った。 ・R4年度は、学習施設において、学習環境の整備及び展示の更新を実施し、3/10にリニューアルオープンした。 | 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業 | — | 【再掲】 令和5年度も国及び県の補助を活用し、「本願清水イトヨの里」の整備を実施 |
| | 2 | 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの保護活動の実施 | 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の保護活動を小・中学生の協力を得て実施することで、文化財を身近に感じ、保護の必要性を知る機会とします。 | 環境・水循環課 | ②概ね順調 | イトヨの里保護啓発推進事業 | R4年度は、巣作り観察やイトヨの生態講座などのイトヨ観察会を3回開催し、市内の子どもたちに、イトヨの保護と水環境保全の重要性について啓発を行った。 | — | — | 開成中学校の生徒を対象に「イトヨ守り隊」を結成し、イトヨの保護活動を実施 |
| | 3 | 本願清水イトヨの里の管理運営 | 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の学習施設である本願清水イトヨの里において資料の展示や企画展を開催します。 | 環境・水循環課 | ②概ね順調 | イトヨの里保護啓発推進事業 | 8/2から10/30まで、イトヨの里企画展2022「大野のイトヨのこれまで」を開催。約90年に渡るイトヨ研究の歩みに関する所蔵資料や写真約60点を展示した。また、3/10に記念講演会、3/11から水中写真展「本願清水イトヨの世界」を開催した。 | — | — | 8/1から8/31の間にイトヨの里企画展2023を実施する予定 |
| | 4 | 星空保護区の認定に向けた取り組み | 星空保護区の認定に向けた取り組みを進めます。 | 観光交流課 | ①順調 | 日本一の星空発信事業 | 光害対策のための屋外照明改修工事、星空保護区認定申請書類の作成委託などを実施。 3月には、屋外照明改修工事の完了を祝う点灯式や、星空保護区シンポジウム(国際ダークスカイ協会東京支部主催)を開催し、機運醸成を図った。 | 市町協働による地域みらい応援プロジェクト補助金 | — | — |
| | 5 | 日本一の星空情報の発信 | 星空保護区の認定を受け、六呂師高原の日本一の星空を観光資源として活用します。 | 観光交流課 | ①順調 | 日本一の星空発信事業 星空ツーリズム推進事業 | MOFネットワークが星空ハンモックに悪天候用の空ドームを導入。大野観光バス(株)が実施するバスの改修、星空観望ツアーに補助を行った。 | — | — | 10月に、第35回「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催 |
| | 6 | 自然や産地を体感できるイベントの実施 | 和泉地区の自然や文化、農産物などを体感できるイベントを実施します。 | 観光交流課 | ①順調 | 九頭竜魅力満喫事業 九頭竜まつり事業 | 新緑まつりに替わる事業として、地元事業者等が実施した九頭竜新緑マルシェに補助を行った。 紅葉まつりを3年ぶりに開催した。 | — | — | — |
| | 7 | 自然体験できる施設の整備 | 自然を体感できる仏御前の滝・麻那姫湖青少年旅行村などの施設・麻那姫像を維持管理します。 | 観光交流課 | ②概ね順調 | 麻那姫湖青少年旅行村等管理運営経費 自然公園内施設等管理経費 | 施設を良好な状態に維持している。R4年度、麻那姫像の清掃を実施した。仏御前の滝が土砂崩れにより8月から閉鎖している。 | — | — | — |
| | 8 | 自然災害の記録調査の実施 | 過去に起きた自然災害に関する記録とそれに関係する言い伝えや備えなどについて調査します。 | 生涯学習・文化財保護課 | ⑤未着手 | — | — | — | — | 令和5年度以降に記録調査を行う |